



2023年12月1日発行
 公益財団法人とちぎYMCA
 〒320-0041
 宇都宮市松原2-7-42
 Tel 028-624-2546
 Fax 028-624-2489
 www.tochigiyymca.org
 発行人 / 塩澤 達俊
 編集人 / 公益財団法人とちぎYMCA

YMCA News

12



クリスマス、大きな喜び

表紙の写真から：2022年 第7回 子どもの貧困撃退チャリティー♡サンタ de ラン&クリーンにて。

高校生ボランティアグループ「つぼみ」がパレードに参加をして、子どもの貧困撃退のための活動をアピールしています。

クリスマス、おめでとございます！みなさんにとってクリスマスの楽しみとはなんですか。初めてのクリスマスの夜、天使が告げた言葉は「恐れるな。わたしは、民全体に与えられる大きな喜びを告げる。」(ルカによる福音書 2:10)でした。しかし私たちの生活の中では恐れることも多くあり、「皆が喜ぶ知らせ」が本当にあるのかと戸惑うこともあります。皆に与えられる喜びではなく、限られたのみの喜びばかりの世界ではないかと疑ってしまうことさえあります。

例えば人は、相手が持っているものを、持たない自分を見てガッカリすることもあります。スポーツ大会には勝ったチームは喜びますが負けたチームは泣きます。試験に合格した人は喜びますが、落ちた人は苦しみます。男性も女性も、お金もちも貧しい人も、日本人も外国人も、障がいのある人もそうではない人も、若い人も年上の人も、全ての人が喜ばれる御告げは本当に有り得るのでしょうか。全てのことをよく知る学者たちも、何も勉強が出来ない人も、みんなで公平に喜ぶことがあるのでしょうか。

しかし、初めて告げた天使のお知らせは「民全体に与えられる大きな喜び」でした。「この世の全ての人に与えられる大きな喜び」とはなんのでしょうか。それはクリスマスに救い主としてイエスがお生まれになったことです。ですが、皆さんにとってイエスキリストが生まれたことは大きな喜びになっていますか。クリスマスの過ごし方として一般的に思い浮かべる事柄はイエスがお生まれになったことと比べると大きな喜びではなくわずかな喜びのように感じます。一緒にケーキを食べることでしょうか。誰かからプレゼントをもらうことですか。年の最後にクリスマスイルミネーションを見ながらデートすることも一時の喜びかもしれませんが、それがそれも仕事をする人にとっては嫌がることかもしれません。

聖書は世界でベストセラーと言われていた本です。聖書が世界でベストセラーとなっていることの大きな理由を考えてみましょう。聖書にはイエス・キリストのことが

多く書かれています。イエス・キリストの誕生がなければ、今、聖書はこれほど有名にならなかったのです。

クリスマスは世間的には「イエス・キリストの誕生」より、「サンタクロースのおじいさん」のほうが有名になったように見えますが、皆さんはイエス・キリストがお生まれになった喜びを深く感じたことはありますか。なぜイエス・キリストの誕生が大きな喜びとなるのでしょうか。私は次のことが理由ではないかと考えます。

1. イエスは私たちに心の安らぎを与えてくださるからです。心の安らぎを得て、生きてゆけることは喜びです。安心して生きられます。喜びと共に過ごせます。

マタイによる福音書 11:28 「疲れた者、重荷を負う者は、だれでもわたしのもとに来なさい。休ませてあげよう。」と素晴らしい励まされる言葉をくださった方の誕生日ですから、全ての人にとって大きな喜びになるに違いありません。

2. イエスは我らの良い友だちになるからです。(ヨハネによる福音書 15:13 ~ 15より) 教会で使う讃美歌312番にはこの讃美があります。「いつくしみ深き 友なるイエスは 罪とが憂いを とり去りたもう ころの嘆きを 包まず述べて などは下ろさぬ 負える重荷を」私たちのために自分の命を捨てるほどの真の友である主イエスのお生まれになった誕生日です。皆が祝っています。

3. イエスは我らの善い羊飼いになるからです。私たちを導き、守ってくださるためにこの世にお生まれになったことは、何よりも素晴らしい恵まれた出来事です。

2023年のクリスマスを迎える皆さん一人一人の上に確かなクリスマスの恵みが降り注ぎますように願います。

西那須野教会牧師
 潘 炯旭

とちぎYMCAの使命。 ~みつかる。つながる。よくなっていく。~

2023年度とちぎYMCA年間聖句

主に望みをおく人は新たな力を得、鷲のように翼を張って上る。走っても弱ることなく、歩いても疲れぬ。」(イザヤ書 40章 31節)

「疲れた者、重荷を負う者は、だれでもわたしのもとに来なさい。休ませてあげよう。」(マタイによる福音書 11章 28節)



認定こども園 さくらんぼ幼稚園

「 さくらんぼ幼稚園は、創立70周年を迎えました 」



2023年はさくらんぼ幼稚園の創立70周年にあたります。今から70年前、1953年はNHKがテレビ放送を開始し、街に公衆電話が登場した年でした。

5月に開園した当時は「さくらんぼ幼稚園」と、「さくらんぼ」の後に「う」がついていました。新入園児は85名、味噌倉を改造した園舎でスタートしたので、いつも味噌の香りがしていたそうです。

それから24年後の1977年にYMCAが引き継ぎ、「さくらんぼ」幼稚園になりました。YMCAの幼稚園として英語、体育、野外などの特色ある活動が盛り込まれ、さまざまなことを体験・経験する幼稚園として地域に認められてまいりました。

また、70周年記念品として、さくらんぼ幼稚園の体育着をモチーフにしたキーホルダーとさくらんぼ幼稚園オリジナルのクッキーをセットにして園児に配布いたしました。写真を中心とした70周年記念誌も作成中です。コンサート風景も掲載し、12月に配布予定です。

これからも神様に喜ばれ、地域の皆様から愛されるさくらんぼ幼稚園でありたいと願い、教職員一同、頑張っていきたいと思っております。今後ともよろしくお願い申し上げます。

園長 岡野 裕子



また、2017年には幼保連携型認定こども園さくらんぼ幼稚園として、保育園機能を併せ持つこども園となり、現在に至っております。

この度さくらんぼ会さまより創立70周年記念品として、清住通り側に幼稚園の看板を設置していただきました。心より感謝申し上げます。

先日、創立70周年を記念して、「栃木県警察音楽隊」による記念コンサートを行いました。子どもたちの好きな曲をたくさん演奏していただき、子どもたちは大喜びで歌いながら楽しんでいました。生の楽器の演奏を身近に聞くことができ、子どもたちにとっては貴重な経験となったことと思います。「さくらんぼのマーチ」も演奏していただき、創立70周年をお祝いすることができました。

足利YMCA 市民クリスマスを開催します!

足利YMCAも共催する「足利市民クリスマス」が開催されます。

第43回足利市民クリスマス

12月9日(土) 14時開場・15時開演

[詳細はこちら](#)



親と子どもの居場所 めいめい

「 めいめい1周年パーティーを開催! 」

昨年開所しためいめいは、9月に開所から1年が経ちました。開所1周年を記念して、いつも来てくださる利用者のみなさんやご支援頂いている方々をご招待して、お祝いパーティーを開催いたしました。

子どもたちからは、「みんなと遊べてうれしい。」や「みんなでご飯を食べられるのが楽しい。」などのメッセージをもらいました。

まずは、みんなでジェスチャーゲームを行いました。お題を体いっばいに表現し、発表をする素敵な姿をたくさん見ることが出来ました。

また、今回のお祝いでは大きなバースデーケーキも用意しました。普段は見ない大きさ、興味津々な様子で、「早く食べたい」と口々に話す姿が印象的でした。ほかにもカレーや唐揚げなどの子どもたちが大好きなメニューが並び、おうちの方と共に楽しそうに食事を囲んでいました。

食事のあと、口いっばいにケーキを頬張る姿を見てみんなで笑いあったことも、心に残る思い出になりました。

『親と子どもの居場所めいめい』は皆さまのお支えにより無事に1周年を迎えることが出来ました。おかげさまで現在では、たくさんの方に利用いただき、支援して下さる方も増えました。様々な方々に支えて頂きながらめいめいを運営行うことが出来ている喜びに感謝申し上げます。今後も親と子どもの居場所めいめいをどうぞよろしくお願い申し上げます。



袖山 千歳

ようとう保育園

「 保育参観(生活発表会)の様子 」

つばめ組(2歳児) 保育参観(生活発表会)の様子

10月27日(金)に保育参観(生活発表会)を行いました。普段から読んでいる絵本(でんしゃののって)を題材にした劇あそびを保護者の皆様に披露しました。「皆で電車に乗って出かけだ〜」と、目指す先は『南の島駅』です。自分で色を塗った動物のお面を被りピアノの音楽に合わせて登場します。電車に乗る前に「のせて〜」「いいよ〜」と掛け合い、ガタゴト〜ガタゴト〜と揺れて到着



した南の島駅では、「お名前は何?」と聞かれて「〇〇です」と一人ひとり自分の名前を言うことが出来ました。『バナナのおやこ』のダンスは保護者の方から「可愛い」という言葉を頂きながら、元気いっぱい踊っていました。たくさんのお客様の前で、緊張やちょっぴり泣いてしまった子もいましたが、練習通りにやりきることが出来ました。

発表会の後は戸外に出て、自由あそびをしました。かくれんぼや鬼ごっこ、砂や泥を使うのまごなど、普段のあそびを保護者の方と一緒に楽しむことが出来ました。「こっち来て〜」「大きいお山だよ〜」などと嬉しそうに保護者の方に話しかける子どもたちの姿はとても微笑ましかったです。

保育参観では、普段の子どもたちの姿を保護者の方に見て頂き、進級当初からの成長の過程を話すことができ、また、ご家庭での親子の関わり方なども知る良い機会となりました。貴重な時間を過ごせたことに感謝したいと思います。

山口 浩美

子どもの家Gブロック 清原中央子どもの家(フレンズクラブ)

「 秋も盛りだくさん 」

今年の秋休みは2日間に渡って、様々なことを行いました。まず初日は『秋祭り縁日』でした。わなげ・魚釣り・たこ焼きピッチャー・射的・スーパーボールすくいをし、駄菓子とポップコーンをもらって、楽しく縁日あそびをすることが出来ました。

また2日目は参加者を募って体育館にて紙ヒコーキ大会を開催しました。将来子どもたちが大人になった時に、夢中で紙ヒコーキを作って飛ばしたなあ、なんてことをたまに思い出してもらえたら嬉しいです。

そしてハロウィンイベントでは、仮装して、『コウモリからの指令』をクリアしながらその日のおやつをゲットするというものでした。子どもたちはとても楽しんでいました。

12月はクリスマスと冬休みが待っています。子どもたちと共に支援員一同も楽しく過ごして参ります。

主任支援員 坂本 由美子



Amazon みんなでサンタクロース



Amazonによる社会貢献活動の一つである「みんなで応援ほしいものリストみんなサンタクロース」プログラムが、今年も始まります。クリスマスや年末年始のホリデーシーズンに、Amazonの「ほしいものリスト」を活用したチャリティキャンペーンです。

今回、とちぎYMCAはパートナーとして、とちぎYMCAを含む全国のYMCAにおいてこのキャンペーンに参画します。

QRコードからAmazonサイトに移り、とちぎYMCA欲しいものリストをご覧ください。

多くの子どもたちが室内、野外で十分に体を動かしたり、豊かな学びのときを持ったり、仲間とのかけがえのない時間を過ごすことができるよう、皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

モロッコ地震・リビア洪水合同緊急支援募金のお礼

2023年9月8日モロッコ地震・9月11日に起こったリビア洪水の支援募金へのご協力を頂きありがとうございました。総額5,297円が集まりました。

モロッコ地震支援金：現地のRTFと協力して支援にあたっているAAR JAPAN【難民を助ける会】
リビア洪水支援金：食料や医薬品、衛生用品など必要な物資の手配、ご遺体の搬送・収容、水衛生キットの配備、離れ離れになった家族の再会支援など様々な活動を続けている赤新月社(赤十字)

上記の通り、半分ずつ寄付いたします。

各団体では引き続き募金を集めています。詳細は各団体のホームページをご確認ください。

~持続可能な世界を作るためのSDGsワークショップ~

未来の地球とわたしたちのためにできること



ウクライナ侵攻やパレスチナ問題、私たちの将来がどうなっていくのか?

「平和」や「貧困」、「飢餓」、「教育」、「ジェンダー平等」、「気候変動」などSDGsを達成するためにはどんなことができるのか?ゲームを通して自分の行いが2030年にどう影響されるのか体験することができます。

最初にご覧いただいたお金と時間を使ってプロジェクト活動を行うゲームをします。それぞれゴールを達成させるため、悩みながら様々な選択をして進めていきます。そうしてゴール達成後に作られる2030年の世界はどんなものになるのでしょうか・・・?

自分にどんなことができるのかを考えるよいきっかけ作りにご参加ください。

SDGsの実現に向けて



[詳細はこちら](#)

おかえりなさい みんなでワイ・Y・さくらんぼバザー 2023

11月3日(金祝)に行われました「おかえりなさい みんなでワイ・Y・さくらんぼバザー 2023」を盛大に開催することができましてありがとうございました。コロナにより4年ぶりの開催となりましたが、好天にも恵まれ、大変多くの皆様にご来場いただき、ゆっくりお話する機会となったのではないのでしょうか。久しぶりにYMCAに足を運んでくださった方々も大勢いらして、同窓会のような一面もあり、お楽しみいただくことができましたと思います。(主催者発表1,000人)

恒例の焼きそば、カレーライス、うどん、さつま芋スティック、フランクフルトなどたくさんの出店、フリーマーケット、パンの販売、手芸品販売など、たくさんのボランティアの皆様にご協力をいただきました。あらためまして皆様に感謝を申し上げます。

このバザーを通しまして約36万円の収益を得ることができました。この益金は国際協力募金への寄付、ユース支援、国内の貧困問題、幼稚園の教育環境改善のために使わせていただきます。

皆様のご理解ご協力に対し、関係者一同、心より感謝申し上げます。



YMCA合同バザー 実行委員長 大久保 知宏
とちぎYMCA 理事長 鷹箸 孝 総主事 塩澤 達俊
さくらんぼ幼稚園 理事長 青木 敬信 園長 岡野 裕子



とちぎYMCAインターナショナル・チャリティーラン

第18回とちぎYMCAインターナショナル・チャリティーラン2023開催報告とお礼



秋空の下、10月22日(日)に道の駅うつのみやろまんちっく村にぎわい広場を会場に、盛会のうちにチャリティーランを実施することができました。大会の開催趣旨にご理解をいただき、多くの皆様からのご支援・ご協力をいただきましたことを心より感謝申し上げます。

「たすきリレー」には26チーム・130名、「ファミリーラン」には67名、「スタンプラリー」には53名、「販売」には7ブース、「ボランティア・スタッフ」には170名、総勢487名の方々のご参加をいただきました。

今大会では、宇都宮ブリッツェン(プロ自転車ロードレースチーム)育成チーム「ブラウ・ブリッツェン」の宇賀神選手がランナーを先導してくださいました。

よさこいグループ「勢や」は、5年ぶりに素晴らしいパフォーマンスを披露してくださいました。パフォーマーと共に踊る参加者には、多くの笑顔がみられました。

福祉施設の手作り品、様々な団体の模擬店、ブースを回ってゲームを楽しむスタンプラリーなど、皆様でこのイベントを盛り

上げていただきました。

この大会が盛会のうちに開催できましたことは偏にご支援・ご協力くださいました多くの皆様のおかげと感謝しております。

今大会の収益金は、約32万円でした。この収益金は、全国YMCA障がい児・者のグループ活動、とちぎYMCAで実施する2月24日～25日の富士山キャンプなどに全額を使わせていただきます。

この大会が企業と市民の協働として年々県内に拡がりを見せ、誰もが健康で幸せな暮らしができる社会づくりの一助となることを願い、これからもご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

公益財団法人とちぎYMCA
代表理事 鷹箸 孝
第18回とちぎYMCAチャリティーラン
実行委員長 岡田 孝司

第8回 子どもの貧困撃退♡チャリティー

サンタ de ラン&クリーン



サンタ de ラン 2023

毎年恒例の県内NPOで協働して開催する子どもの貧困撃退チャリティーイベント「サンタ de ラン&クリーン」、今年も開催します。7人に1人の子どもたちが相対的貧困の状態にあると言われます。友だちや仲間「子どもの貧困」を伝えて、サンタになって街をキレイにします。重要なのは「伝える」ことです。子どもの貧困をなくす「仲間」をたくさんつくりましょう!

とちぎYMCAも益金の寄付先団体として、本イベントに参加します。また、YMCAのユースが、実行委員会に加わり、イベント開催のための準備と社会課題解決のためのアクションを進めています!是非当日の参加をお待ちしております!



【日時】 2023年12月17日 (日) 11:00 ~ 15:00

【場所】 オリオンスクエア・宇都宮市中心部

【主催】 とちぎコミュニティ基金
サンタ de ラン実行委員会

ご興味のある方はとちぎYMCA

<028-624-2546 担当: 荒井・川口>まで
お問い合わせください!とちぎコミュニティ基金
サンタdeラン公式HP

詳しくはこちら▶

月刊# (ハッシュタグ)



第30回 #なにそれなにそれ

とちぎYMCA総主事
塩澤 達俊

#クリスマス#イスラエル#パレスチナ#ガザ

クリスマス会のハイライトはキリスト降誕劇です。羊飼い、3人の博士、ヨセフとマリア、天使、馬小屋のイエス・キリスト・・・クリスマスの物語が子どもたちによって可愛らしくも厳かに演じられます。

むかし、大人たちが演じた“もうひとつの”キリスト降誕劇を紹介しましょう。1939年ナチス・ドイツがポーランドに侵攻しイギリスとフランスの宣戦布告によってヨーロッパの第二次世界大戦は始まりました。翌年の12月クリスマス、とあるドイツ軍の捕虜収容所でキリスト降誕を主題とした劇がフランス人捕虜たちによって上演され皆を大いに活気づけたといえます。

劇の作者は収容所の捕虜でフランス人実存主義作家J.P. サルトル、タイトルは『バリオナ』といえます。

イエスが生まれた頃のパレスチナはローマ帝国に征服され、制圧者によってユダヤ王の地位を認められたヘロデがやりたい放題をしていました。ある時ヘロデ王は星占い師から「ユダヤの王となる子が生まれた」ことを知ります(それがイエスです)。「これはヤバイ!」と思ったヘロデはベツレヘムの2歳以下の男子を皆殺しにします。ですが、生れたばかりのイエスと両親は天使のお告げでエジプトへ逃れて無事でした。

大人になったイエスはパレスチナの各地で武器や暴力でなく、愛と慈しみと数々の奇蹟によって民衆をまとめ、理不尽な為政者たちを脅かすリーダーとして活躍することになります。

さて『バリオナ』には、命を賭して幼いイエスらがエジプトへ逃れることを助けたユダヤ人バリオナの実存が描かれています。

この演劇が捕虜たちを元気にしたのは、制圧者ローマ人にナチス・ドイツの姿を重ね、抵抗するヒロイックなユダヤ人レジスタンス(抵抗運動)のバリオナや抵抗者として引喩されたイエスに自分たちの姿を重ねたからでもあります。

今年のクリスマス、わたしたちはクリスマス物語の誰に、イスラエル、パレスチナ、ガザにある誰に、どの国、どの民族、どの宗教に・・・自分を重ねるでしょうか?

高校生ボランティアグループ「つぼみ」



つぼみ通信 vol.8



サンタ de ランまであと少し!



つぼみは毎年、『サンタ de ラン』に参加しています。(※今年のサンタ de ラン&クリーンについては、上記をご覧ください。)サンタ de ランの運営に関わることは、今年度私たちつぼみが設定した活動テーマのひとつです。

サンタ de ラン実行委員会の中でつぼみのリーダーは、大学生や他団体の学生と共に

「若者チーム」と呼ばれ、広報・宣伝の役割を担い、話し合いながら準備を頑張っています。また若者チームの中でも3つのグループにわかれ、募金箱のデザインや形を考えたり、サンタ de ランをたくさんの人に広める動画を考え、制作したりしています。

特に、動画の準備を進めていると「貧困とはなにか」「私たちにできることはなにか」と深く考える機会がありました。貧困について知ること、ボランティアに参加すること、募金をする、国際の観点ではフェアトレード商品を買ってみることなど、高校生の私にもできることは沢山あると気付きました。

私は、サンタ de ランに初めて参加するので、今はとても緊張しています。ですが、任されたことを精一杯頑張って、当日は多くの方の笑顔で溢れるように積極的に取り組みます!当日をお楽しみに!

宇都宮北高校1年 小林 実命 (ぼむ)